

平成 29年 12月作成

生活支援体制整備事業に関する市町村の取組

福島県 いわき市

福島県 いわき市

基礎データ

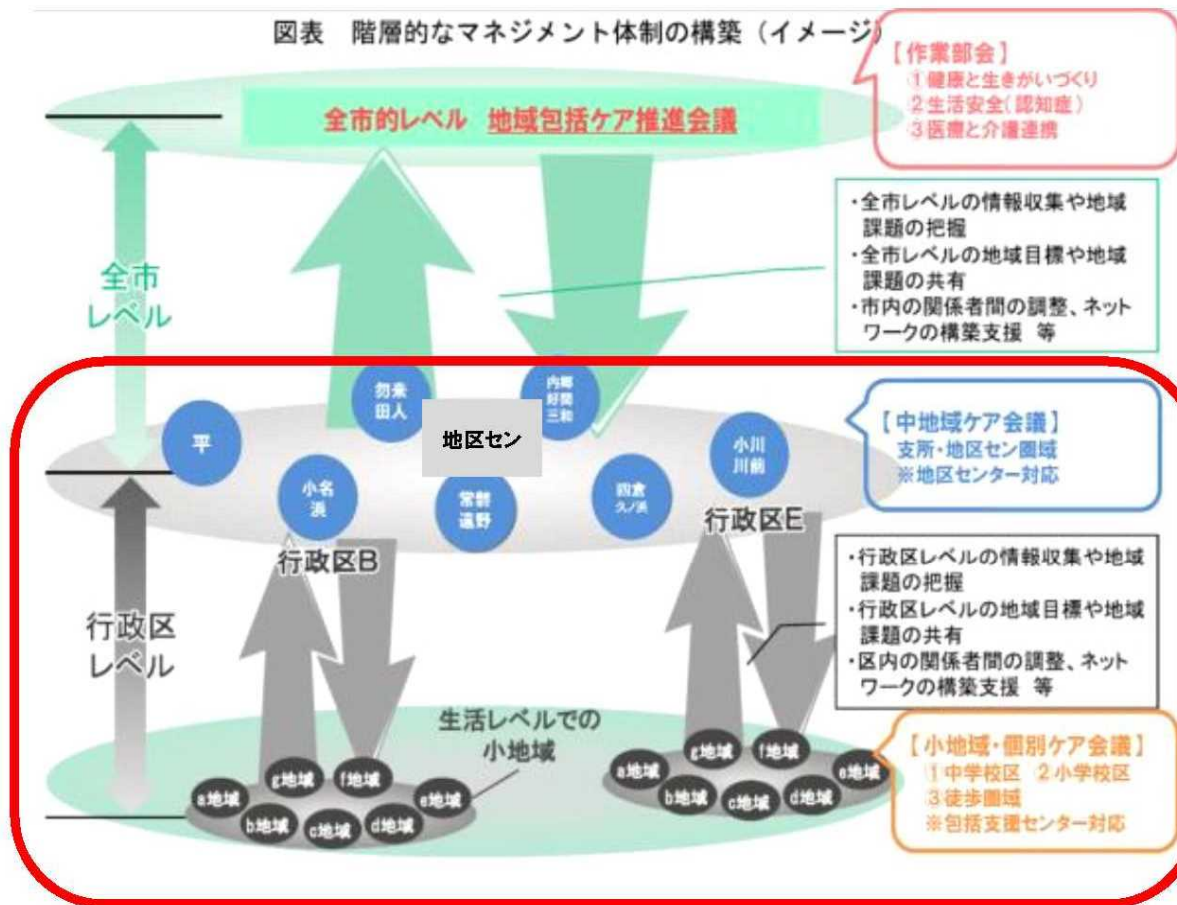
作成時点: 29年12月

- 総人口: 327,491人 (H29.10.1現在 … いわき市「住民基本台帳」より)
- 高齢者人口: 95,614人 (H29.10.1現在 … いわき市「住民基本台帳」より)
- 高齢化率: 29.2%
- 要介護・要支援認定者数: 19,366人 要介護認定率: 20.3%
(H29.9月末 … 厚生労働省「介護保険事業報告(月報)」より)
- 日常生活圏域数: 14 圏域
- 地域包括支援センター数: 委託 7ヶ所
- 第6期介護保険料: 5,789円 (厚生労働省ホームページより)

管内の特徴として、14市町村の合併により生まれた背景から、非常に広域であること、人口が分散していること、地域ごとの特色が強いこと、などが挙げられる。

いわき版・地域包括ケアの推進

～地域単位の「課題解決」と「共創」のしくみづくり～



- ・ 地区保健福祉センターに地域包括支援センター、地区社協を併設し、市民窓口の一元化と地域マネジメント体制を確立
- ・ さらに7圏域ごとに「中地域ケア会議」を設置。(委員総勢のべ148人※行政職員除く)
- ・ 「中地域ケア会議」で地域住民、関係機関、行政が一同に会し、地域の生活課題を解決していくことを目的とした活動がはじまっている
- ・ 「共創によるまちづくり」を具現化するしくみが「地域ケア会議」

【生活支援体制整備事業】

協議体

1 設置状況

- ・ 第1層は設置していない。
- ・ 第2層は平成29年7月に設置。

構成員： 社会福祉協議会、地域包括支援センター、民生児童委員協議会、行政嘱託員協議会、
高齢クラブ連合会、大学、高校、行政 外

2 設置までの経緯

住民主体型（住民支え合い活動）

H27・H28モデル

社協に委託

H27：37,000千円
H28：28,000千円

H27・H28モデル実施地区

①平城山、②平鎌田、③小名浜玉川、④永崎、
⑤勿来南台、⑥入旅人、⑦常磐下船尾、
⑧遠野上根本、⑨内郷高坂、⑩好間田代・沼平
⑪四倉新町、⑫小川塩田、⑬三和上市萱、
⑭久之浜西町、⑮川前山下谷

* 生活支援ニーズの把握と支援内容の検討 *

手伝ってほしいこと	
①声かけ	⑧電球交換
②買物	⑨洗濯
③通院・外出	⑩調理
④庭手入れ	⑪重い物移動
⑤ごみ出し	⑫回覧板移動
⑥掃除	⑬その他
⑦窓拭き	

できる・工夫必要・難しいの3つに分類し、介護保険から外れたところの支援を検討

「できること」

から開始を決定！

住民主体型（住民支え合い活動）

H29本格実施

○平成27・28年度は、モデル事業として、15の自治会圏域に第3層協議体を設置し、住民支え合い活動の創出に取り組んできたところであるが、本格実施となる平成29年度は、13の旧市町村圏域に第2層協議体を設置し、より広域な視点から住民支え合い活動の創出に取り組んでいく。

○平成27・28年度に引き続き、市社会福祉協議会に委託して、実施している。

第2層協議体

13旧市町村圏域（平、小名浜、勿来、田入、常磐、遠野、内郷、好間、三和、四倉、久之浜大久、小川、川前）

○空白地帯への働きかけ

○既存団体への支援など

支援 ↓

↑ 報告

○具体的な活動の紹介

○地域の現状と課題の伝達など

第3層協議体

15モデル団体（城山、鎌田、玉川、永崎、南台、入旅人、下船尾、上根本、高坂、田代・沼平、新町、塩田、上市萱、西町、山下谷）
+新規団体（第2層の働きかけにより活動が始まった団体など）

【生活支援体制整備事業】

3 開催の状況



住民主体型（住民支え合い活動）

H29スケジュール

時期	内容
7月～	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回第2層協議体の開催 ○住民支え合い活動の必要性について ○意見交換・情報交換 ○地域ニーズ調査
11月～	<ul style="list-style-type: none"> ○第2回第2層協議体の開催 ○地域ニーズ調査結果報告 ○課題の抽出と分析
2月～	<ul style="list-style-type: none"> ○第3回第3層協議体の開催 ○担い手の養成やフォローアップ ○サービスの有償化などに関する検討

【通年実施】
 ○第3層との連携
 ○事業の周知と広報
 ○住民支え合い活動に興味や関心のある地域住民や担い手などを中心とした活動グループの立ち上げと組織化支援
 ○担い手の養成

※第2層協議体設置状況

- 平 7月28日 ○小名浜 7月27日 ○勿来 7月21日 ○田 人 7月26日
 ○常磐 7月24日 ○遠 野 7月19日 ○内郷 7月26日 ○好 間 7月21日
 ○三和 7月19日 ○四 倉 7月31日 ○久之浜大久 7月28日
 ○小川 7月26日 ○川 前 7月28日



住民主体型（住民支え合い活動）

第3層協議体活動状況（いわき市社会福祉協議会実施）

地区	実施（予定）サービス	登録ポーター数
平 城山	買い物代行、電球交換、掃除、困りごと相談、書類整理など	33
平 鎌田	声かけ、買い物、電球交換、ごみ出し・分別、つどの場の運営など	24
小名浜 玉川町西区	安否確認、ごみ出し、買い物、重い物移動、畑作・除草など	21
小名浜 永崎	見守り・声かけ、買い物代行、ごみ出しなど	17
勿来 南台	庭木の手入れ、草引き、窓拭き、重い物の移動（ごみ出し）、つどの場の運営など	25
田入 入旅人大字区	買い物代行、つどの場の案内・送迎・運営、入旅人あんしんカードなど	29
常磐 下船尾	買い物代行、ごみ出し、窓拭き・電球交換、障子の張り替えなど	30
遠野 上根本	定期訪問（声かけ）、庭先や墓周りの掃除、重い物の移動、移動サロンの運営など	8
内郷 高坂9区	声かけ・傾聴訪問、つどの場の運営、意見箱、通院付き添い、薬受け取りなど	14
好間 田代・沼平	個人宅サロンの運営、見守り・声かけなど	8
三和 上市萱	個人宅サロンの運営、生活支援全般、回覧板の引き取り、話し相手など	13
四倉 新町	庭木の手入れ・草引き、家電製品の組立て、つどの場の運営など	27
久之浜大久 西町1区	見守り・声かけ、ごみ出し、重い物の移動、買い物代行など	19
小川 塩田	公民館サロン、声かけ訪問、草刈り・木の片付け、買い物代行など	26
川前 山下谷	見守り・声かけ、介護予防サロンなど	5

(平成29年10月31日現在)



住民主体型（住民支え合い活動）

第2層協議体開催状況

地区	第1回日程	第2回日程
平	7/28	11/27
小名浜	7/28	11/28
勿来	7/21	11/16
田人	7/26	11/29
常磐	7/24	11/14
遠野	7/19	11/20
内郷	7/26	11/29
好間	7/21	11/28
三和	7/19	11/15
四倉	7/31	11/29
久之浜大久	7/28	11/28
小川	7/26	11/29
川前	7/28	11/25

【協議体において出された主な意見】

移動販売などの生活支援サービスがリスト化されていると活用もしやすいだろう。
既存の組織を上手く活用しながら、ごみ出し支援などの新たな活動に取り組めるとよい。
多世代の交流の重要性。
民生委員の負担が大きいので、隣組長などがそれを支えるような形で見守りに取り組めるとよい。

【今後の予定】

現在取りまとめ中である地域ニーズ調査から見えてきた地域の現状や課題から、その対応策について検討を進めることで、地域ごとに必要な生活支援に取り組むグループの立上げや組織化を支援していくなど、新たな担い手の養成に努めながら、支え合い活動の必要性などについて周知を図る。

生活支援コーディネーター

1 設置状況

- ・ 第1層は設置していない。
- ・ 第2層は平成27年4月に設置。

配置場所： 統括として社会福祉協議会本部に1名、7つの地区社協に各1名の合計8名を配置。
職種は特に定めていない。

2 設置までの経緯

- ・ これまでの地域との繋がりを考慮し、社会福祉協議会に配置。

3 活動の状況

- ・ 区長や民生児童委員と話し合いを持つ等、関係団体と連携を密にすることで、資源と担い手の発掘に努めている。
- ・ 地域に眠った活動、気付かない活動を掘り起こし展開している。

4 設置したことによる効果

- ・ 関係機関との連携が密になることで、これまで結び付きの薄かった人と人、団体と団体の繋がり、意識醸成や担い手の発掘が進んでいる。

- ・ **住民支え合い活動**
(モデル15地区／サポーター288人)
+社協の小地域福祉活動17地区
- ・ **「つどいの場」の創出**
(390か所／実参加者6,546人)
- ・ **高齢者見守り隊**
(30か所／隊員1,417人)
- ・ **シルバーリハビリ体操**
(指導士612人・230教室
／年間のべ7万人参加)
- ・ **シニアボランティアポイント**
(登録527人／受入機関130か所)
- ・ **認知症サポーターの養成**
(18,531人)

さらに、

- ・ オレンジカフェ以和貴(7か所)
- ・ いわき市生活援助サービス

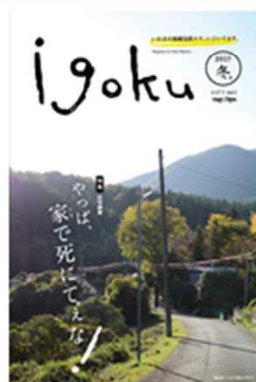


住民主体型（住民支え合い活動）

生活支援コーディネーターの配置状況は次のとおり。

	配置場所	分類	圏域	設置年月日
1	平地区協議会	第2層	平	平成27年4月1日
2	小名浜地区協議会	第2層	小名浜	平成27年4月1日
3	勿来地区協議会	第2層	勿来・田人	平成27年4月1日
4	常磐地区協議会	第2層	常磐・遠野	平成27年4月1日
5	内郷地区協議会	第2層	内郷・好間・三和	平成27年4月1日
6	四倉地区協議会	第2層	四倉・久之浜大久	平成27年4月1日
7	小川地区協議会	第2層	小川・川前	平成27年4月1日
8	社会福祉協議会本部	第2層	各圏域の統括	平成27年4月1日

魅力ある「共生・共創のまち いわき」へ ～「つながる」豊かさを、まちの魅力に～



幸せな暮らしは
地域の魅力そのもの

自分が望む場所で
最期まで暮らし続けること。
それを当たり前に行ける
いわきを目指して。



- 先駆的な取り組みや魅力的な「ひと」「生活」「地域」を、地域包括ケアポータルサイト「いごく(Igoku)」などから発信し、いわきの「見える化」と「地域ごとの魅力の再発見」につなげる
- 情報の発信により、市内各地の健全な「共創」・「競争」意識をさらに喚起
- 魅力のある地域や取り組みが増えるほどに、外部からみたときに、全体としての「いわき」の魅力が大きくなっていく
- 今後全国的に人口減少と少子高齢化が進んでいったときに、若い世代や次の世代にとっても魅力的なまちに、「いわき」はなれる

- Facebookやインスタグラムを活用して団塊の世代の子ども世代にも届けたい。